

事業所名： グループホーム樫の実

作成日： 令和 5 年 4 月 25 日

2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに次のステップへ向けて取り組む目標を職員一同で話し合いながら作成します。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	10	コロナ感染状況が緩和し、通常的人员配置に落ち着いた時には、利用者の日常生活がわかる写真に担当職員がコメントを付けて、毎月の請求書と一緒に送るなど、できる事から取り組み、家族の安心と信頼に繋がりたい。	入居者の日常生活がわかる写真を写し、請求書と一緒に写真をコメントを付け送付する。LINEや葉書などでの通信も含め、より施設での生活の様子が伝わるように努め、家族の安心と信頼に繋げる。	行事や生活の中での状況が伝えられるよう、写真も含めて定期的なお知らせを実施する。	3 か月
2	11	3ユニットで協力し合い、人手不足を補っている。職員の健康にも配慮し、業務負担軽減に向けての対策を話し合い、先ず、自分たちの出来る事から手掛け、業務改善に繋がりたい。	人手不足が利用者に負担を掛ける事がないようにする。	外国人職員も経験を重ねてきており、パート職員も含めて協力体制を確立する。	3 か月
3	35	3ユニット全体での防災訓練とは別に、各ユニット毎でいろいろな災害時場面を想定し、出勤職員だけで初期動作をやるなど、災害時において、職員自ら適切に行動出来る訓練の実施に期待したい。	現状での職員数では防火訓練年3回、防災訓練年1回のペースで実施したい。	災害時の初期動作については年4回の訓練時間を延長し、実施する。	6 か月
4					か月

注1) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。

注2) 項目数やセルの幅が足りない場合は、行を挿入して下さい。